

第1回 高層住宅・防災シンポジウム & 防災クルーズ

「港区・高層住民の防災を考える会」

質問：震災が起きた時、どこに避難すればよいのでしょうか？

答え：高層住宅の住民は7日間、自室で残留居住することが求められています。

質問：震災時でも、高層住宅では普段と同じような生活ができるのでしょうか？

答え：電気、ガス、水道などが止まる可能性が高いので普段とはまったく違います。

電気が止まり、エレベーターが動かず、水道やトイレも使えない、そのような状況下において、電力などインフラが回復するまでの7日間、自宅で残留居住するための準備である「自助」、同じマンション内や地域で助け合う「共助」、そして、行政からの助けである「公助」について考えましょう。「高層住宅防災シンポジウム」第一部では識者によるシンポジウムを行い、第二部では、船で運河を巡り、水上から街の防災を考えます。

■第一部：「高層住宅・防災シンポジウム」AM10:00～12:00（定員210名）

■第二部：「防災クルーズ」

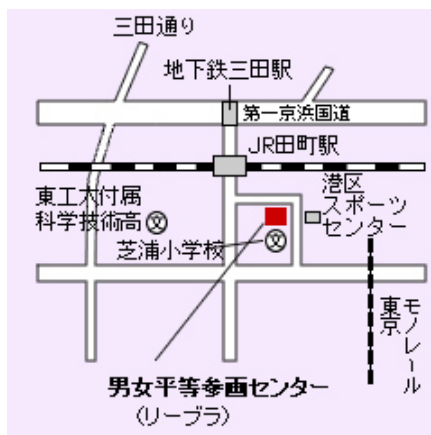
第一便 13:00～13:45（定員40名）

第二便 14:00～14:45（定員40名）

第三便 15:00～15:45（定員40名）



日時： 1月17日（日）午前10時より
場所： 港区男女平等参画センター5階ホール
受付： 一部二部ともAM9:30～受付にて先着順
費用： 無料
主催： 「港区・高層住民の防災を考える会」
後援： 港区・三井不動産(株)・(株)エフエム東京
事務局： 芝浦アイランド自治会



<お問い合わせ先> 「港区・高層住民の防災を考える会」
(TEL03-3798-8331 FAX03-3798-8332 「認定NPO海塾」内)